希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100－8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災した皆さんやボランティア活動に役立つ情報などをお待ちしています。「さがしています」「がんばろう」「伝言板」への投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

さがしています

〈岩手県〉
☆宮古市日立浜町で民宿「おおすか」を経営していた大須賀キミさん（80代）へ　茨城県ひたちなか市の本田勲さん（64）、妻の恵美子さん（65）が心配しています。10年ほど前、本田さんが大須賀さんの民宿を利用して以来の付き合いです。「息子さんの家に行っているかもしれない。何かご存じの方は自宅（029・274・3533）に連絡ください」

☆県内在住と思われる斉藤光信さん（60代）、妻の安子さん（50代）へ　元同僚で新潟県湯沢町の小野塚（旧姓・星野）秋晴さん（63）が消息を求めています。斉藤さんと小野塚さんは40年ほど前に、東京都練馬区の東京基準寝具（現・東基）で一緒に働いていました。「長い間連絡が取れていなかったが、心配している。自宅（025・787・3836）に連絡ください」

〈宮城県〉
☆石巻市築山の佐藤百合子さん（70代）へ　埼玉県上尾市の高橋ふみ子さん（68）が心配しています。高橋さんは石巻市の出身で、佐藤さんとは40年ほど前に市内の和裁教室で一緒でした。「帰省するたびに手作りの洋服を持たせてくれました。自宅（048・775・4048）に連絡ください」

☆石巻市小渕浜小渕の阿部幸弘さん（59）とご家族へ　40年来の友人で千葉県南房総市の渡辺幸男さん（70）が、携帯電話（090・1500・7029）に連絡を待っています。阿部さんと渡辺さんは、東京の船会社で同僚でした。阿部さんは現在、カキやワカメの養殖業を営んでいます。「石巻市役所から給分浜の避難所にいるらしいと聞きましたが、確認がとれません。心配しています」

☆多賀城市桜木の島田博さん（70代）へ　15年ほど前からの知人で、東京都福生市の片桐君夫さん（72）が心配しています。島田さんは川崎市の物流関係の会社で役員をしていました。片桐さんとは仕事で付き合いがありました。「手紙を出しても返事がありません。携帯電話（090・3498・2155）に連絡ください」

〈福島県〉
☆南相馬市小高区飯崎南原の羽下朋太（はが・ともたか）さん（20代）、父昌方さん、母昭子さん（ともに60代）へ　栃木県那珂川町の山口静江さん（63）が消息を求めています。羽下さんは就学前、宇都宮市の若葉園に通っていて、山口さんは同園で保育士をしていました。昌方さんは陶芸家です。「若葉園の職員だった人が、みんな羽下さんのことを心配しています。自宅（0287・96・3359）に連絡ください」

みつかりました

▽3月28日掲載の福島県旧・梁川町の石井絹江さん、夫の三郎さんから4月16日、友人で京都府宇治市の磯崎一代さんに「元気にしている」と電話がありました。石井さんは震災直後から1カ月ほど埼玉県内に避難していて、自宅に戻ってきたそうです。

▽1日に掲載した岩手県宮古市の木村フミ子さんから、知人で静岡市清水区の望月幸夫さん、和美さん夫妻に15日電話がありました。木村さんは「自宅は津波で流されなかったものの、夫は行方不明。息子と孫と一緒に頑張っていく」と話していたそうです。望月さんは「力になりたいので、野菜や米などを送るつもり」と言っていました。

伝言板

▼岩手県陸前高田市の知的障害者通所施設「あすなろホーム」の施設長、西條一恵さんへ　14日の希望新聞「声　被災地から」を読んだ、NPO法人神戸ライフ・ケアー協会からの伝言です。「商品販売のお手伝いができるのではと思います。どのような商品がありますか？　どうしたら購入できますか？　少しでもお手伝いできないかと考えています。協会（078・854・1346）の檜垣か林に電話をください」

▼福島県矢祭町の東西しらかわ農協職員、熊田孝子さんへ　15日の希望新聞「がんばろう」を読んだ、神戸市東灘区、美しい街岡本協議会会長の橋谷惟子（のぶこ）さんからの伝言です。「わたしたちの街は16年前の阪神大震災で大きな被害が出ました。多くの人に助けてもらい、なんとか頑張っています。今度は私たちが東北のみなさんの役に立ちたいと思います。東灘区で野菜を売るには、どうしたらいいですか。売り上げは義援金にしてお送りしたいです。ファクス（078・451・9369）に連絡ください」

がんばろう

●被災地にアメを送る「あめちゃん募金」を始めました。　私たち「親と子のいんた～ねっとYAO」は大阪府八尾市の子育て支援ボランティア団体です。「お菓子を食べている間はつらいことを忘れてほしい」と思い、長い時間ペロペロなめられる棒付きのボール状のキャンディーを被災地の子どもたちに送ろうと考えました。

3月下旬から八尾市内の府営公園「久宝寺緑地」で週末、家族連れに呼び掛けて集めています。見知らぬ子に「あめちゃん、食べるか？」と声をかける「大阪のおばちゃん」のイメージが受けたのか、ずいぶん反響がありました。

棒付きキャンディー2本を100円で買ってもらい、1本を寄付してもらう仕組みです（ネットでは販売できないので購入費用の寄付のみ受け付け。連絡先はnetyao@tp.sunnyday.jp）。「あめちゃんもつらい気持ちも半分こ」という思いを伝えたいからです。あめちゃんを通じて、子ども同士をつなぐことができたらと思います。

あめちゃんにはメッセージ付きの小さい折り紙をつけています。子どもたちは笑顔の女の子を色鉛筆で描いたり、「どうぞ」「おいしいよ」と書いてくれます。返事が来て、交流の芽が育てばと願っています＝大阪府八尾市、森田幸代さん（37）

サポート情報

～東日本大震災～

17日現在

医療

18日に診療を予定している医療機関。余震、停電などの影響で、変更の可能性がある。

〈岩手県〉県立の久慈、宮古、釜石、大船渡と、せいてつ記念、国立釜石、釜石のぞみ、三陸、盛岡赤十字、奥州市総合水沢、久慈恵愛、一関、岩泉は通常診療。

〈宮城県〉◆仙台市仙台市立、仙台赤十字は通常診療▽急患センター（若林区）は内科、外科、小児科で19時15分～23時

◆仙台市外　石巻赤十字は救急の重症のみ▽石巻市立は9～11時、13時半～15時半（新患の受け付けは不可）▽塩釜市立、県立循環器・呼吸器病センター、栗原市立栗原中央、同市立栗駒、同市立若柳、赤石、真壁、国立宮城は通常診療▽気仙沼市立は通常診療だが内科、消化器科で新患の受け付け不可▽気仙沼市立本吉は8時半～11時半と13時半～16時▽石巻港湾は内科のみ9時～12時半（新患の受け付け不可）

〈福島県〉県地域医療情報システムで案内　☎024・521・7221

〈茨城県〉救急医療情報システムで案内　☎029・241・4199

■歯科

岩手県沿岸部で診療可能な病院・診療所は以下の通り。このほか、大船渡市のあやひめホール、陸前高田市の高田第一中と広田小（午前のみ）に仮設の診療所が設置されている。

◆宮古市＝宮古歯科▽伊藤歯科▽宮古山口病院▽宮古市国保新里▽吉川歯科▽くらた歯科▽デンタルクリニック駒井▽昆デンタル▽さいとう歯科矯正▽坂下歯科▽佐原歯科▽中居歯科▽中澤歯科分院▽橋本デンタル▽林歯科▽前原歯科▽宮古第一▽国保川井歯科◆釜石市＝遠劦歯科▽瓦田歯科分院▽かまいし駅前歯科▽鈴木歯科▽平松歯科▽歯科福成▽かっし歯科▽やえがし歯科▽周凜会山崎歯科◆大船渡市＝いわぶち歯科▽及川歯科▽菊池歯科▽ちば歯科▽広沢歯科▽渡辺歯科◆久慈市＝すべて診療可能◆岩泉町＝岩泉町国保岩泉歯科▽大川歯科▽おがわ歯科▽こがわ歯科▽八重樫歯科◆田野畑村＝国保田野畑村歯科◆住田町＝菅野歯科▽横沢歯科

給水

18日に予定されている主な給水場所と、市町村などの問い合わせ窓口は次の通り。ポリタンクなど容器の持参が必要。（C＝センター）

〈岩手県〉◆大船渡市＝市役所▽大船渡地区公民館▽大船渡中▽おさかなC▽下船渡駅▽立根小▽末崎ふるさとC（以上8～18時）。給水車の巡回も☎0192・27・3111◆陸前高田市＝給水車で巡回☎0192・59・2111◆釜石市＝給水車で巡回☎0193・23・5881

〈宮城県〉◆気仙沼市＝市民会館前公園▽気仙沼中▽市役所▽市総合体育館▽階上中▽階上出張所▽面瀬中▽鹿折中▽浦島小▽磯草ポンプ場前▽唐桑中▽舘老人憩の家▽小原木中▽本吉総合支所▽本吉公民館▽小泉中ほか。給水車の巡回も☎0226・23・2560◆石巻市と東松島市（石巻地方広域水道）☎0225・95・6711◆栗原市＝ほっと館（8時半～17時）☎0228・42・1130◆多賀城市＝上水道部庁舎前（8時半～19時）▽明月ビル前▽安倍重機前（以上9～10時、14～15時）▽理研食品前（11～12時、16～17時）☎022・368・1141◆女川町＝給水車で巡回☎0225・54・3131◆山元町＝町役場（6～19時）▽太陽ニュータウン（10～15時）☎0223・37・1111

避難所で、紙粘土を使って遊ぶ尾崎玄伽君（中央）。マグロのすしが大好きで、「おすしができた」と喜んでいた。3月11日が誕生日でプレゼントも流されたという＝岩手県大船渡市末崎町の碁石地区コミュニティセンターで17日、小関勉撮影

〈福島県〉◆いわき市＝24時間使える給水所は▽水道局本庁舎▽平一町目公園▽菱川町公園▽平浄水場▽泉浄水場▽鹿島ショッピングセンターエブリア南側駐車場▽勿来支所▽山玉浄水場。ほか21カ所で給水車など。水道が復旧した地区は終了する☎0246・22・1221

〈茨城県〉◆潮来市＝中央公民館（8～22時）▽田の森浄水場（8～18時）☎0299・63・1111◆神栖市＝24時間使える給水所は▽堀割1丁目▽平泉コミュニティC▽大野原コミュニティC▽うずもコミュニティC▽南浜海浜住宅▽波崎総合支所。ほか14カ所で給水車☎0299・90・1149

入浴

余震の発生などにより変更の可能性がある。

〈岩手県〉新山根温泉べっぴんの湯＝久慈市山根町下戸鎖4☎0194・57・2222▽健康ランド古墳ノ湯＝久慈市長内町35☎0194・61・3232▽花の湯＝釜石市野田町1☎0193・25・0268▽湯ったり館＝宮古市茂市第8地割☎0193・72・3800▽山桜桃の湯＝一関市赤荻笹谷☎0191・33・1118

〈宮城県〉極楽湯名取店＝名取市田高原☎0222・383・1126▽芭蕉の湯いやしの館＝松島町松島☎022・353・8155（正午～18時）▽ベルサンピアみやぎ泉＝大和町小野前沢☎022・346・2121

〈福島県〉いわき健康センター＝いわき市小浜町中ノ作☎090・4046・4126▽いわき湯本温泉の日帰り温泉＝いわき湯本温泉旅館協同組合☎0246・43・3017（17日時点で旅館6軒が日帰り入浴可。公衆浴場の「みゆきの湯」「さはこの湯」も営業）▽ゆ処高見＝南相馬市原町区高見町2☎0244・24・5668▽飯坂温泉（福島市）の共同浴場は8カ所が営業中＝飯坂温泉観光協会☎024・542・4241▽大江戸温泉物語あいづ＝会津若松市神指町北四合東神指☎0242・22・0600

〈茨城県〉鹿島セントラル天然温泉ゆの華＝神栖市大野原4☎0299・90・0261▽中郷温泉通りゃんせ＝北茨城市中郷町日棚☎0293・44・0026

仮設住宅

仮設住宅の入居募集や説明会を行っている主な自治体の受付場所、問い合わせ先は次の通り。

〈岩手県〉◆宮古市市役所、避難所☎0193・62・2111◆大船渡市　市役所、避難所☎0192・27・3111◆陸前高田市　仮庁舎（エコタウン鳴石）で受け付け中☎0192・59・2111◆釜石市　地区について受け付け中。地区拡大前に応募した人は再応募も可。仮庁舎（シープラザ釜石）☎0193・22・8262◆岩泉町　避難所などで申込書を配布☎0194・22・2111

〈宮城県〉◆仙台市1、2期分プレハブ住宅2333戸など約1000戸を対象に18日まで市役所と宮城野、若林区役所☎0120・055・1500◆石巻市　2期分205戸を20日まで市役所、支所、避難所☎0225・95・1111◆多賀城市　1期分45戸を27日まで市役所☎022・368・1141◆東松島市　1期分252戸を18日まで市役所、支所☎0225・82・1111◆亘理町　町役場☎0223・34・0512◆七ケ浜町　1期分115戸を18～30日、町役場☎0222・364・2337◆南三陸町　1期分139戸を21日まで仮庁舎（町総合体育館）☎0226・46・1377

〈福島県〉◆白河市140戸を20日まで市役所☎0248・22・1135◆川内村　362戸を18日まで仮庁舎（郡山・ビッグパレット）☎024・946・3378◆須賀川市　1期分194戸を24日まで市役所☎0248・76・7196◆南相馬市　1期分505戸を5月6日まで市民文化会館、鹿島区役所で電話受け付け☎0244・24・5253

〈茨城県〉◆北茨城市2期分40戸を22日まで市役所☎0293・43・1111

〈千葉県〉◆旭市　200戸を随時、市役所☎0479・62・5895

商業施設

ヨークベニマル　東北地方124店舗のうち114店が営業中。沿岸部などの主な営業店は▽宮城県＝多賀城、福田町、大和町、遠見塚、名取西、岩沼、岩沼西、亘理、矢本、大街道、石巻蛇田▽福島県＝勿来江栗、いわき泉、谷川瀬、エブリア、小名浜、上荒川、大原、好間、相馬、相馬黒木、内郷の各店。

再開時期が未定なのは宮城県の4店（湊鹿妻、中浦、塩釜、市名坂）と福島県沿岸部の6店。

ジョイス　岩手県内はアピア、みたけ、大槌、山田以外の32店舗が営業中。

マイヤ　岩手県の大船渡インター▽釜石▽野田▽サンパルク▽千厩▽気仙沼バイパス▽青山▽仙北▽滝沢▽アルテ桜台の10店舗が営業中。また次の4カ所で10～18時、出張販売を実施中。大船渡市・おさかなセンター三陸▽大槌町八幡地区・元エヌエスビー▽陸前高田市高田町・鳴石団地入り口▽同市米崎町・相野果実園跡。

ウジエスーパー　宮城県内31店のうち塩釜、石巻山下、飯野川、桃生、広渕など29店が10～20時に短縮して営業中。志津川駅前店とUマート石巻店は再開していない。

フレスコキクチ　福島県の相馬、鹿島店と宮城県の亘理、大河原、角田店は閉店を通常より1時間程度早めて営業中。

労働・雇用

■出張相談

宮城労働局は被災した労働者や亡くなった労働者の遺族向けに、労災保険などに関する出張相談を、県内市町の大規模避難所（避難者100人以上）で実施している。

▽18日＝岩沼市、山元町、気仙沼市▽19日＝気仙沼市、仙台市▽20日＝気仙沼市、七ケ浜町

具体的な出張先は同局労災補償課（☎022・299・8843）で確認を。

その他

■金融機関

被災した銀行の支店が、臨時の窓口や出張所などを設け預金引き出しや相談などに応じる。引き出しは1人1日10万円まで。

〈岩手県〉◆岩手銀行（平日午前10時～午後2時）　高田支店＝①陸前高田市高田町鳴石の鳴石団地②同市高田町鳴石112の11に移転した市役所仮庁舎隣接の仮設プレハブ▽大槌支店＝大槌町大槌第15地割71の1の県立大槌高▽山田支店＝山田町八幡町3の20の町役場▽野田支店（相談業務のみ）＝野田村野田第20地割14の村役場▽気仙沼支店＝宮城県気仙沼市古町1の6の22（元ジブラルタ生命ビル、☎0226・22・5401）

〈宮城県〉◆七十七銀行　女川支店＝18日午前10時～午後2時、女川町女川浜大原190の町総合体育館▽気仙沼、内脇両支店＝18日午前9時～午後3時、気仙沼市三日町1の11の旧気仙沼商工会議所▽鮎川支店＝19日午前10時～午後2時、石巻市鮎川浜清崎山7の清優館デイサービスセンター

◆仙台銀行　塩釜支店＝平日午前10時～午後3時、塩釜市本町6の16。☎022・365・2156▽気仙沼支店＝18日午前10時～午後2時、気仙沼市八日町2の1の11の気仙沼商工会議所駐車場▽雄勝支店＝18日午前10時～午後2時、石巻市雄勝町大須大須251の2の市立大須小体育館▽女川支店＝18日午前10時～午後2時、女川町女川浜大原190の町総合運動公園内

電話帳

●行方不明者相談ダイヤル
岩手県警　0120・801・471
宮城県警　022・221・2000（9～19時）
福島県警　0120・510・186

●交通機関
JR東日本　050・2016・1600（6～24時）
JAL（国内線）　0570・025・071　（7～20時）
ANA（国内線）　0570・029・222

●通信・ライフライン
NTT災害用伝言ダイヤル　171
日本郵便　0120・2328・86（平日8～22時、土日祝9～22時）
東北電力　0120・175・366

●医療
＜放射線被ばく相談＞
▽文部科学省健康相談ホットライン　0120・755・199（9～21時）
▽放射線医学総合研究所相談窓口　043・290・4003（9～21時）
＜人工透析＞
▽岩手県　人工透析相談窓口　019・629・5471
▽宮城県　仙台社会保険病院　022・275・3111（かかりつけ医が対応していない場合のみ）
▽福島県　県地域医療課窓口　024・521・7221
＜その他＞
日本医師会　03・3946・2121
日本糖尿病協会　0120・151・721（平日9～18時）
被災がん患者ホットライン（国立がん研究センター）
紹介状あり＝03・3547・5130（平日10～16時）
紹介状なし＝03・3547・5293（平日9～18時）
てんかん支援ホットライン　054・245・5446
アレルギー支援ネットワーク　052・485・5208

●生活支援
日弁連電話相談　0120・366・556（平日10～15時）
岩手弁護士会　0120・755・745（平日13～16時）
仙台弁護士会　0120・216・151（平日10～16時）
福島県弁護士会　024・534・1211（平日14～16時）
あしなが育英会　被災者専用　0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
心の相談緊急電話　0120・111・916（13～22時。日本臨床心理士会など）
チャイルドライン支援センター　0120・99・7777（月～土16～21時）
多文化共生マネージャー全国協議会
▽英語　080・3503・9306（他に中国語、スペイン語などの窓口あり）
震災関連の悪質商法110番　0120・214・888（10～16時。国民生活センター。岩手、宮城、福島、茨城4県対象）
＜視聴覚障害者向け＞
「全日本ろうあ連盟」や「全国盲ろう者協会」がウェブサイトで支援情報などを提供。

●省庁　※平日のみ
住宅の補修・再建（国交省）0120・330・712（月～土）
行政相談（東北管区行政評価局）0120・511・556
（茨城行政評価事務所）0120・188・571
金融相談（東北財務局）　022・721・7078
中小企業相談（経産省）　0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省）0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）　0120・707・118※

●金融機関など　※平日のみ
岩手銀行　0120・064・626※
七十七銀行　0120・78・1177
東邦銀行　0120・104・157
ゆうちょ銀行　0120・108・420
東北労働金庫　0120・877・562
住宅金融支援機構　0120・086・353
日本政策金融公庫0120・154・505（土日0120・220・353）
そんがいほけん相談室（日本損保協会）
0120・107・808または03・3255・1306
地震保険契約会社照会センター　0120・501・331※
生命保険相談所（生保協会）　03・3286・2648※
災害地域生保契約照会センター　0120・001・731※

■移転した役所と連絡先■

＜岩手県＞
陸前高田市　エコタウン鳴石　☎0192・59・2111
釜石市　シープラザ釜石　☎090・2533・5098
大槌町　町中央公民館　☎080・1851・4911（25日以降、大槌小に再移転）

＜宮城県＞
女川町　女川第二小学校　☎0225・54・3131
南三陸町　町総合体育館ベイサイドアリーナ　☎0226・46・2600

＜福島県＞
広野町　FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場　☎0246・43・1331
楢葉町　会津美里町本郷庁舎　☎0242・56・2155
富岡町　郡山・ビッグパレット　☎024・946・8813
川内村　郡山・ビッグパレット　☎024・946・8828
大熊町　会津若松市追手町第2庁舎　☎0242・26・3844
双葉町　旧埼玉県立騎西高校　☎0480・73・6880
浪江町　二本松市東和支所　☎0243・46・4731
葛尾村　会津坂下町・川西公民館　☎0242・83・2651
★双葉郡支援センター　☎0120・006・865
福島県双葉郡の上記8町村から避難した住民に連絡を呼び掛けている。8～22時。

希望新聞

声 被災地から

岩手

宮古市立磯鶏小に避難している中村シゲさん(75)「津波で口元まで水が流れ込んできて、丸太がすぐ近くを流れていった。恐ろしかった。近所の人が『助けてけろ、助けてけろ』というのが聞こえた。みんな必死だった。だんだんと水が引いていったので、急いで避難した。ご先祖様のものもすべて流されてしまい申し訳ない」

「家の中も大変なことになってる」と話す中村シゲさん＝長田舞子撮影

宮古市立愛宕小に避難している花坂良一さん(51)「みんな疲れているから仕方ないけれど、いびきやせきで夜もなかなか眠れない。自宅はまだ電気が通っていないので片付けが進まず、家の前もがれきだらけでこれ以上ごみを積む場所もない。ちゃんと給料が支払われるか分からず心配ですが、まだ仕事があるだけ良い方です」

「家族全員無事だったことがよかった」と話す花坂良一さん＝長田舞子撮影

旧釜石市立白浜小に避難している漁業、浦島富司さん(59)「幸い乗っていた船は使える状態なのですが、港の防波堤が壊れ、がれきが散乱しています。行政には早く修理し、がれきを撤去してもらいたい。防波堤の再建が元の生活に戻る第一歩だと思います」

がれきから回収したホタテ漁の器具を点検する浦島富司さん＝松井聡撮影

避難所の陸前高田市立第一中で救援物資の洋服を選んでいた伊東真美さん(18)と菅野麻美さん(18)「今春、仙台市の大学に進みます。津波で家が流され、洋服がなくて。1人暮らしに向けて買いそろえた家電もすべてなくなりました。楽しい大学生活を思い描いていましたが、今は、まじめに勉強して親に心配を掛けないようにすることで頭がいっぱいです」

避難所で洋服を探す伊東真美さん（右）と菅野麻美さん＝鈴木敦子撮影

動けるところから

理容店を再開した野田村の吉田進悦さん(64)「店は天井近くまで浸水し、理容道具も流され、電動いすも全部だめになりました。知人から中古のいすを譲り受けて3月28日に再開できました。入浴もままならない被災者から『カットだけでも』と頼まれ、店を早く開くことにしたのです。動けるところから動き出さないと、村のみんなの元気が出ません。家を流された人は無料にしようと思います」

理容室を再開した吉田進悦さん（左）＝吉井理記撮影

宮城

南三陸町志津川のベイサイドアリーナに避難している志津川高2年、三浦茜さん(16)「バレー部の練習で体育館にいて、地震に遭いました。高校は水が出ないため、生徒を二つに分けて別々の場所で5月から授業を再開するそうです。転校する友達もいて寂しいけれど、4人きょうだいの一番上なのでしっかりしなきゃと思っています」

知人の子供をあやす三浦茜さん（右端）と妹の結花さん（右から2人目）＝加藤沙波撮影

石巻市住吉町の商店街で、夫佐藤文広さん(63)とクリーニング店を営む米子さん(59)「建物は残りましたが、洗濯機、乾燥機などが津波でダメになりました。今は、流されずに残った約50枚の洋服を、お客さまが受け取りに来るのを待っています。連絡も取れない方もいらっしゃるので心配です。高知県のボランティアの方に『頑張って』と励まされたことが心に残っています。頑張ります」

佐藤米子さん＝杉本修作撮影

福島

いわき市の市立中央台東小体育館に避難している市立豊間小の6年、根本綾香さん(11)▽5年、四家鈴音(すずね)さん(10)▽3年、遠藤美花さん(8)▽3年、鈴木修人君(8)のみんなで「学校には児童が200人くらいいたのに、避難して130人くらいになってしまいました。みんなに会いたいので、戻って来ることのできる人は早く帰ってきてください」

避難所で仲良く遊ぶ根本綾香さん（前列右）、四家鈴音さん（同左）、遠藤美花さん（後列右）、鈴木修人君（同左）＝和田武士撮影

福島市飯坂町のホール「パルセいいざか」に避難している南相馬市原町区旭町、元契約社員、高田智之さん(32)「3月20日が工場の仕事の契約期間満了日だったので、次の仕事を探そうとしていたところの震災でした。避難所暮らしで住所不定同然なので、失業保険を受給できるか不安です。被災者支援について国や市のスタンスがあいまいなので、自宅に戻っていいのか分かりません」

高田智之さん＝金寿英撮影

ボランティア

アトピッ子地球の子ネットワーク

アレルギー患者に食品やケア用品

アレルギーに関する情報提供や相談を行っているNPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク（東京都）は被災地のアレルギー患者にアレルギーの原因を取り除いた食品や、皮膚炎のケア用品などを送り届けている。4月上旬に宮城県などの被災地に入った赤城智美・専務理事(51)は「会った人たちはみんな『大丈夫です』と言うけれど、1カ月ずっと米と大根だけを食べている子供がいた」と話す。赤城さん自身、アレルギー疾患で食べられるものが限られている。原因物質を取り除いた食品は「普段から販売している店が少なく、在庫がいつもあるとは限らない」（赤城さん）。被災地であれば、なおさら状況は深刻だ。企業などから提供を受けて小麦を使っていない米パンや、アレルギーの原因物質を含まないレトルト食品などを、拠点になる病院に届けたり、宅配便で被災者に直接送っている。

また、ぜんそくの予防薬を使い果たしてしまい、発作に苦しむ人や、ほこりっぽい被災地で、肌が荒れる人もいる。「被災地で提供される風呂に入れた入浴剤や、新しい肌着が患者にとって悪い刺激になることもある。前もって、注意できればいいが手が回らない」

阪神大震災では、自動車5台で被災地を回り、10日くらいで対処のメドがついたというが、今回は被災した地域が非常に広い。「周囲に困っている人がいたら、我々におしえてほしい」と、メール（yoshizawa@atopicco.org）などでの情報提供を呼び掛けている。【最上聡】

赤城智美さん

義援金の主な受付窓口

※ゆうちょ銀行（郵便局）の窓口での通常払い込みは手数料無料。他の銀行の本支店間の窓口振り込みも手数料無料。

●政府
・三菱東京UFJ銀行東京営業部 普通0322313
・三井住友銀行東京公務部 普通0167524
・みずほ銀行虎ノ門支店 普通4130160
・ゆうちょ銀行 00130・6・623461
口座名はいずれも「東日本大震災義援金政府窓口」

●日本赤十字社
・ゆうちょ銀行 00140・8・507
「日本赤十字社 東日本大震災義援金」
※三井住友、三菱東京UFJ、みずほの各銀行でも受け付け

●中央共同募金会
・ゆうちょ銀行 00170・6・518
「中央共同募金会 東日本大震災義援金」
※りそな、三菱東京UFJ、三井住友の各銀行などでも受け付け

■受け入れ中の自治体■

県外から被災地へのボランティア受け付け状況は次の通り。がれき撤去、泥かきなど。移動手段、食事、宿泊などすべて自分で確保する。くぎを踏むけがが増えており、安全靴か中敷きで補強した長靴の準備を。災害ボランティアセンター（VC）のウェブサイトなどで事前に情報を確認し、むやみな電話は避ける。

＜宮城県＞（VCのサイト msv3151.c-bosai.jp/）◆石巻市☎0225・23・6015（9～16時）。仙台駅東口7時45分出発の無料バスを18日まで運行予定。7時10分ごろから先着80人に整理券配布◆岩沼市☎080・5949・7541～2。直接センターへ。8人以上の団体は事前連絡を◆気仙沼市☎080・5949・7475。直接センターへ◆亘理町☎080・5949・7719（8時半～18時）◆南三陸町☎080・2055・1066、0878。必ず事前連絡を

＜福島県＞（VCのサイト ameblo.jp/pref-f-svc/）◆南相馬市☎0244・24・1877。鹿島では泥かきなど、原町では屋内作業など

× ×

ボランティアを希望する人は、まず基本的な情報を調べ、自分で何ができるか考えよう。

●全国社会福祉協議会被災地支援・災害ボランティア情報（www.saigaivc.com/） VC一覧のほか、基本的な心構えをまとめている
●助けあいジャパン（tasukeai.japan.jp/） ボランティアの募集・登録情報を種別、地域別などで掲載
●Yahoo！ボランティア（volunteer.yahoo.co.jp/） 支援活動中の団体などをまとめたほか、震災関連のイベントや募集の検索も
●東日本大震災支援全国ネットワーク（www.jpn-civil.net/） 全国のNPO、NGOなどが多数参加するネットワーク。初心者向け資料やVCの設置状況の地図など

Q&A

学校に通う子供たちの心のケアは？

A 保護者や教員も感情抑えずに

阪神大震災で被災した兵庫県で、児童生徒の心のケアを担う「教育復興担当教員」を8年務めた神田英幸さん(62)に聞きました。

震災後は「暗いところが怖い」と訴える子や、落ち着きをなくしたり不登校になる子が急増しました。一方で元気そうに見える子も、落ち着いた頃に悲しみの感情を表に出すことがありました。元気そうに見えても安心せず、何気ない仕草や表情に注意してください。

むしろ、そわそわする方が自然です。そんな時はしっかり受け止めてあげてください。

保護者を対象に、被災状況や困り事をアンケートし、教員間で共有しました。回答には保護者のつらい心情がびっしり書かれていました。知人や親族を失ったり、家族関係が変化した家庭も多かったんです。子供の心のケアには、保護者の心のケアも不可欠だと実感しました。

今回は先生の多くも、自ら被災したり身近な人を亡くした中で、支援にあたっているはずです。どうか、あまり頑張らないように。悲しい時は子供たちの前でも我慢せず「悲しい」という感情を出してください。そうすれば、子供も気持ちを出してくれます。

声かけを大切にして、「あなたは一人じゃないよ。先生や友だちや地域の人たちがいるよ」というメッセージを発してください。私自身も、被災地のみなさんを思っています。「一人じゃないよ」と。【細川貴代】

■公営住宅の被災者受け入れ■

★被災者向け公営住宅等情報センター
フリーダイヤル 0120・297・722
（9～18時）

被災者が入居可能な全国の公営住宅、UR賃貸住宅などの情報を紹介する。入居は原則無料。希望先の住宅を管理する自治体などに電話が転送される。有料の民間賃貸住宅も案内している。

■近隣都道県の避難者受け入れ先■

＜北海道＞道外被災県緊急支援対策本部 ☎0120・113・926
＜青森県＞県生活再建・産業復興局 ☎017・734・9581
＜岩手県＞
県内陸部の宿泊施設で受け入れ。
県政策地域部の専用窓口☎019・629・5216
＜秋田県＞県被災者受入支援チーム ☎018・860・4504
＜山形県＞県建築住宅課☎023・630・2638
＜新潟県＞県住宅確保対策班 ☎025・282・1748
＜茨城県＞県避難対策班☎029・301・6735
＜栃木県＞相談窓口＝道の駅「那須高原友愛の森」 ☎0287・78・3033
＜群馬県＞県避難者受入れ支援センター ☎0270・26・9420～1
＜東京都＞都総合防災部☎03・5320・4007
＜神奈川県＞県災害支援担当 ☎045・210・5970
＜埼玉県＞県避難者総合相談センター ☎048・601・2220
＜千葉県＞県の避難者センター ☎043・223・3411
＜山梨県＞県支援対策室☎055・223・1519
＜長野県＞県の受入相談☎026・235・7407

■主なバスの運行状況■

＜岩手県北バス＞☎019・654・5814
盛岡―郡山、盛岡―福島などで運行。
＜岩手県交通＞☎019・654・7755
＜ミヤコーバス＞☎022・771・5310
18日から仙台近郊で通常ダイヤ。
＜仙台空港鉄道＞☎022・707・2235
仙台空港―JR名取駅で代行バスを運行。
＜日本三景交通＞☎022・354・5151
仙台―松島、松島―塩釜、仙台―多賀城で臨時運行。
＜福島交通＞☎024・531・2706（福島支社）
☎024・943・1651（郡山支社）
福島―いわきなど全路線で復旧。

主な鉄道の運行状況

※18日予定含む

■主な鉄道の運行状況■

●新幹線
＜東北新幹線＞東京―福島、盛岡―新青森で運行。一ノ関―盛岡は24日ごろ、福島―仙台は27日ごろ、仙台―一ノ関は4月末以降に再開予定
＜山形新幹線＞全線（東京―新庄）で運行
＜秋田新幹線＞盛岡―秋田で運行。東京―盛岡を含む全線は今月末以降に再開予定

●JR在来線の再開見込み
※18日は大船渡線の一ノ関―気仙沼が再開予定
＜東北線＞仙台―一ノ関、岩切―利府は21日ごろ
＜仙山線＞愛子―山寺は23日ごろ
＜仙石線＞小鶴新田―東塩釜は19日ごろ
＜常磐線＞上野―いわきの特急は4月下旬に再開

●その他
＜三陸鉄道北リアス線＞宮古―小本、陸中野田―久慈で運行
＜仙台市地下鉄＞29日に全線再開予定。富沢―台原は運行
＜阿武隈急行＞瀬上―保原、角田―槻木は18日に再開予定。保原―富野は運行

その他

■眼鏡

メガネ・パリミキ（本社・東京都品川区）は避難所を回り、視力測定のほか、既製品から比較的合った眼鏡（近視、遠視、老眼）と補聴器を無償提供し、修理も行う。補聴器用電池も提供。巡回予定は次の通り。問い合わせはお客様センター（☎0120・1099・101）。

△岩手県▽18日＝釜石市・旧釜石商高（11時～12時45分）、同市・嬉石市民交流センター（14時～16時半）▽19日＝宮古市・河南中（10時半～12時）、同市・山口小（13～15時）▽20日＝陸前高田市・陸前高田第一中（11～15時）、大槌町・大ケ口多目的集会所（10時半～12時）、山田町・青少年の家（13～16時）

△宮城県▽18日＝東松島市・市コミュニティセンター（11時）、同市・小野市民センター（15時）、美里町・町南郷体育館（17時）▽19日＝東松島市・赤井市民センター（11時）、同市・赤井地区体育館（14時）、同市・大塩市民センター（17時）▽20日＝東松島市・宮戸小（12時、縄文村交流館から会場を変更）▽21日＝女川町・勤労青少年センター（12時～13時半）、同町・第一保育所（15～16時）▽22日＝女川町・海泉閣（12時～13時半）▽23日＝女川町・総合体育館（13～15時）

■国内線の運航

日本航空は仙台を除く28日までの臨時便を発表している。日本航空の仙台空港発着便と全日空の臨時便の21日以降の予定は18日以降に発表される。当面の予定は次の通り。便数は1日当たり。

△花巻空港▽羽田便＝3往復（20日まで）▽伊丹便＝4往復（いずれも日本航空）

△山形空港▽新千歳便＝日本航空2往復、全日空1往復▽羽田便＝日本航空5往復（20日まで）▽中部便＝全日空1往復▽伊丹便＝日本航空4～5往復、全日空2往復

△仙台空港▽羽田便＝全日空3往復、日本航空1往復▽伊丹便＝日本航空2往復

△福島空港▽新千歳便＝2往復▽伊丹便＝4往復（いずれも全日空）

歌に心を癒やす力

遠くの被災地より

中国・四川大地震（08年）の被災地を訪れた時、今にも崩れそうなビルを見て「これは阪神大震災よりもひどい」と感じました。今回の津波被害をテレビで見るたび、四川よりも悲惨な光景に言葉が出ません。

私も阪神大震災で自宅が全壊しました。その体験から、四川大地震では学校建設のために貯金を寄付したり、慰問コンサートを開きました。いずれは東北の被災地でも、コンサートを開きたいと思っています。

歌には人の心を癒やす力がある。私はそう信じています。四川大地震から1カ月後、被災地で「千の風になって」を中国語で歌った時のことです。息子を亡くした女性から「私は毎日泣いていました。でも歌を聴き、息子は風になって、そばにいてくれているんだと思えてきました」と言われました。今も忘れられません。

東日本大震災の被災地では今後、心のケアが重要になってきます。四川大地震で倒壊した校舎の下敷きになり、左足を失った女子高校生(18)を日本に招待したことがありました。部屋でうたた寝していた彼女は、急にうなされ始めました。「助けて」「暗い」。目には涙があふれていました。地震から2年がたっていたのに……。どれほど心に傷を負ったのか、想像もつきません。

今は中国とか日本とか関係なく、世界中が心を痛めています。私も歌を通して、被災者の心を癒やすことが使命と考えています。ひとつになって、乗り越えましょう。【聞き手・小坂剛志】

中国人歌手
李広宏さん(50)
＝兵庫県西宮市